

決算説明資料

2022年3月期第3四半期



OPS

INFINITE POSSIBILITIES. INFINITE SOLUTIONS.



2022年2月14日

オムニ・プラス・システム・リミテッド

マザーズ外国株 (7699)

2022年3月期 第3四半期 決算の概要



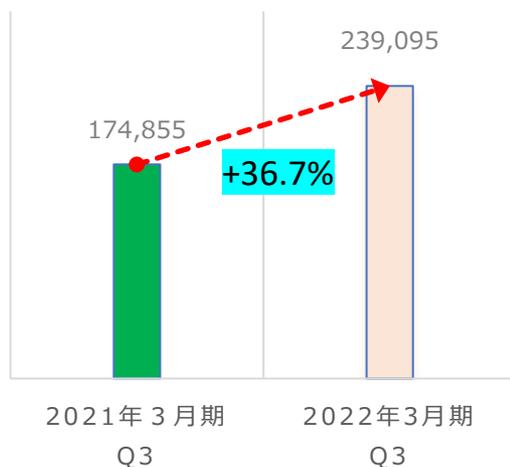
- ◆ 売上収益は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあったものの、前年同期比**36.7%増収**の239.1百万米ドルとなりました。
- ◆ 売上原価は、販売実績の増加により、前年同期比38.3%増加の213.1百万米ドルとなりました。
- ◆ 各利益（売上総利益、税引前四半期利益、四半期利益）は売上収益の増収により**大幅増益**を達成しました。
- ◆ 資産合計は、前連結会計年度末と比較して43.3百万米ドル増加しました。増加要因は、売掛金及びその他の債権の増加10.6百万米ドル、棚卸資産の増加29.5百万米ドル、有形固形資産の増加5.8百万米ドルなどによるものです。
- ◆ 棚卸資産の増加は、新型コロナウイルス感染症による世界的なサプライチェーン活動の混乱や出荷遅れによる供給不足に対応するための**在庫の積み増し**によるものです。
- ◆ 昨年12月中旬に発生したマレーシアでの豪雨による洪水及び、新型コロナウイルス感染症によるマレーシアの労働力不足による影響により、**業績予想を下方修正**しました。
(詳細は、本年1月14日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」参照)

2022年3月期 第3四半期 損益計算書

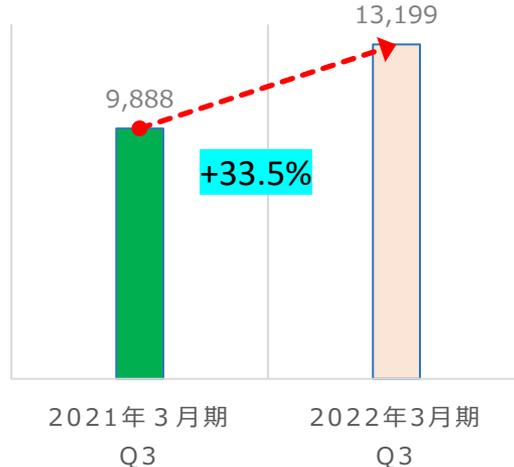


単位：千円ドル	2022年 3月期Q3	2021年 3月期Q3	前期比	増減額
売上収益	239,095	174,855	36.7%	64,239
売上総利益	25,916	20,659	25.4%	5,257
税引前四半期利益	15,180	11,394	33.2%	3,786
四半期利益	13,199	9,888	33.5%	3,310
四半期包括利益	13,262	10,284	29.0%	2,978
売上総利益率	10.8%	11.8%	—	—

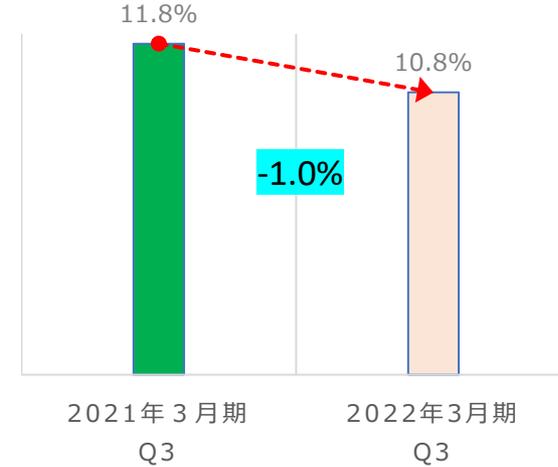
売上収益



四半期利益



売上総利益率



2022年3月期 第3四半期 貸借対照表



単位：千円		2021年 3月31日	2021年 12月31日	増減額
	非流動資産	19,951	25,465	5,514
	流動資産	117,306	155,045	37,739
	資産合計	137,258	180,510	43,253
	資本合計	39,911	59,565	19,654
	非流動負債	11,438	16,547	5,109
	流動負債	85,908	104,398	18,490
	負債合計	97,347	120,946	23,599

四半期別 経営成績

単位：千円ドル	2021年3月期				2022年3月期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上収益	35,958	66,831	72,066	74,734	78,743	74,458	85,894
売上総利益	4,099	8,025	8,535	7,450	9,587	6,753	9,577
税引前四半期利益	2,288	4,422	4,683	2,322	6,445	2,964	5,770
四半期利益	1,990	3,968	3,930	1,828	5,568	2,606	5,024
四半期包括利益	1,908	4,186	4,190	1,617	5,604	2,587	5,071
売上総利益率	11.4%	12.0%	11.8%	10.0%	12.2%	9.1%	11.1%

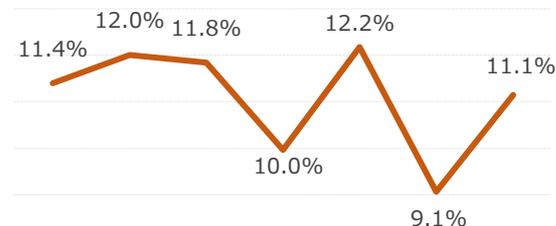
売上収益



四半期利益



売上総利益率



Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
2021年3月期				2022年3月期		

Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
2021年3月期				2022年3月期		

Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
2021年3月期				2022年3月期		

2022年3月期 連結業績予想



単位：千米ドル	2022年3月期 今回修正予想	前回発表予想 からの増減額	対前期 増減率	2022年3月期 4月～12月 実績	進捗率
売上収益	317,000	△38,155	27.0%	239,095	75.4%
売上総利益	34,000	△3,948	20.9%	25,916	76.2%
税引前利益	19,000	△1,079	38.5%	15,180	79.9%
当期利益	16,500	△852	40.8%	13,199	80.0%
基本的1株 当たり当期利益	0.78 米ドル	-	-	0.63 米ドル	-

- ◆ コロナ禍におきましても既存顧客からの受注は順調であり、またコスト削減等の効果により、売上収益及び各利益とも前期実績を上回る見通しです。
- ◆ 上記業績予想等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ◆ 詳細は、**本年1月14日付「通期業績予想の修正に関するお知らせ」**を参照願います。